

向東だより

令和6年11月

「学校評価アンケート(前期)」報告

平素は本校教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
先日は『学校評価アンケート』へのご回答ありがとうございました。



本校では、令和6年度下記の学校経営方針にそって、様々な教育活動を行っております。今回、生徒・保護者・教職員を対象に実施した「学校評価アンケート(前期)」を元に、3つの視点で、向島東中学校について分析をしましたので、報告させていただきます。

学校教育目標

『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』



◆目指す生徒像

「**愛**」 人を大切にする生徒

～人(自他ともに)を大切に思い、つながり、高めあう姿～

「**学び**」 学びに夢中になる生徒

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

「**志**」 自律・自立のもと自己変革できる生徒

～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

◆生徒に付けたい資質・能力

『**対話力**』

○事象との対話・・・知的好奇心や探究心をもって向き合う姿

○自己との対話・・・自己理解、自己調整しながら、粘り強く取り組み、その過程を振り返る中で自己認知につなげる姿

○他者との対話・・・思いやりをもって、つながり、高め合う姿

【学習について】

令和3年度から取り組んでいる授業改革では、各教科で「授業モデル」を意識した授業を行い、グループ学習による課題解決型の学習を通して「主体的・対話的で深い学び」の充実を目指しています。

今回のアンケート結果では、「授業の満足感や達成感」について、生徒、保護者、教員がそろって70%を超える肯定評価となりました。また、「子どもに基本的な学力が身についている」という項目では、保護者、教員とも過去4年間の中で一番評価が高い結果となり、学校改革が形となってきていることがわかります。

今後、さらなる成長へ向けて、

- ①テストだけでなく、学習の見通しを持ち、「準備して臨む」「意識付け」、
 - ②得意な分野を伸ばすための努力を応援する“スキルアップ”、
 - ③増設した自主学习教室「学びの聖地」で大学生と学び、得られる“つながり”
- に取り組み、「授業で学習内容を理解する→授業外で復習に取り組む→理解をより深めるため、さらに学ぼうとする」という良循環を回していきましょう。

読書が広げてくれる世界も、大きな力になります。

11月上旬本校は「京都市子ども読書活動優秀実践団体」として表彰されました！

【生活面について】

23時以降に就寝する生徒の割合は54%で、学年が上がるにつれて、その割合が高くなる傾向が昨年度同様続いています。

また、1日のスマホの使用時間が2時間以上と回答した生徒は、75.9%と非常に高い割合で、2時間未満1時間以上を合わせると、94.1%となっています。

中学時代は体の成長が著しく、健康で暮らしていくには十分な睡眠と規則正しい生活が不可欠です。深夜になってもSNSやゲームなどで多くの時間を費やし、不規則な生活になってしまわないように気を付けたいものです。早寝早起き・朝ごはんを意識しましょう。

【豊かな心の育成】

本校の学校改革の柱の一つは「つながり」を意識した取組を行うことです。各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動の中で、生徒が主体的・対話的に関わりながら学ぶ取組とともに、向東祭での縦割り活動を通じて他学年の生徒と関わりを持ち、経験や感動を共有できたことが多面的な学びにつながり、学校を誇りに思う気持ちに表れています(79.1%)。生徒が中心となる取組を進めることで、愛校心や先輩へのあこがれが高まり、自分自身も人の役に立ちたいという思いを強めることにつながっています。引き続き、一人ひとりが自覚を持ち、様々な考えに触れ、経験と想像力を養い、場に応じた言動ができるように指導していきたいと思っています。

これからも向島東中学校は進化し続けます